1977年12月3日第三種郵便物認可（毎月1・2・3・5・6・7の日発行）2017年12月17日発行SSKP通巻6777号

SSKP

はれのちくもり

第９３号

ピアス通信別冊第19号

はれのちくもり別冊ピアス通信では、就労移行支援事業所ピアスの訓練やイベントを中心に、
多摩棕櫚亭協会の「働く」ことに関する情報を皆様に発信していきたいと思っております

くにたち秋の市民祭　参加の報告

今年の「くにたち秋の市民祭」は、棕櫚亭から十数年ぶりにピアスが参加しました。ホットドッグ屋さんとして出店することによって、「地域の方々と交流する」「棕櫚亭ピアスを地域の方々に知っていただく」「メンバーとともに楽しんで参加する」ことを目標にしました。お陰様で、ホットドッグは無事に完売し、大盛況のうちに終わりました。その模様を準備日から市民祭当日までを記事にしましたので、ぜひご覧ください。

準備期間中の様子

今回の市民祭は、開始2週間前の準備からメンバーと職員で一緒に取り組みました。

特に力を入れたのは、看板や広告ポスター等、店舗を彩るレイアウトでした。ポスターには可愛いホットドッグやキャラクターの絵をかいたり、ネット上の素材を組み合わせたり、“熱い（HOT）犬（DOG）”とユーモアに書いたりと、作品一つ一つにその人らしさが表現されていました。

当日に参加できないメンバーも準備には参加して笑いの溢れる時間になりました。その中で「絵が得意」「小学校では図工が好きだった」等、メンバーが得意なことや昔の話が聞けたりもしました。（ピアス　鈴木）

当日の様子

午前中は、お客様はぼちぼちな感じで、ちょっと売れ行きを心配しました。午後からは午前の心配をよそにどっとお客様が増え、あっという間に用意した400個、完売しました！ホットドッグを作る人、売る人、お客さんに声を掛ける人、それぞれがだんだん職人になっていきました。初めは笑顔が固かったり、声が小さかったりでしたが、だんだん、みんなの気持ちも盛り上がってきたからか、元気に笑顔で販売できたと思います。一番忙しい時間には、素晴らしい連携ができあがっていました。現役で働いている元ピアスの利用者さんもお手伝いしてくださって大活躍でした。

お客様は、現役の利用者さん、OB、高齢者配食の利用者さん、スタッフ、元スタッフ、その家族などなど知った顔も多く、久しぶりの方とは再会を喜び合い、話は尽きず、とても賑やかでした。棕櫚亭は、たくさんの方々に支えられ、つながっていることを実感できる時間になりました。（ピアス　増田）

椋棚亭　地域交流スポット紹介
第一弾“Cafeここたの”特集

今号のピアス通信から、ピアス周辺の主に国立市内での地域交流の場を不定期にて特集していきます。ピアスに訪問されたOB・OG、関係者の方々や訓練後のメンバーが気軽に立ち寄れる場を紹介していく予定です。

その第1弾として、谷保駅から北側へ徒歩5分の「むっさ２１（富士見台名店街）」内の「Cafeここたの」さんにご協力いただき、代表の樋口さんにお店の成り立ちやランチメニュー、スイーツ、イベント、ここたのを通じた樋口さんの思い等のお話を伺うことができました。「Cafeここたの」の幅広い魅力をお伝えできればと思います。

団地の中に見つけたオシャレな学生カフェ

「Cafeここたの」は、「ここに来るとたのしい！」の略称で、一橋大や津田塾大などの学生さん達が集まったサークル「Pro-K（プロック）」によって運営されているカフェです。

カフェのある商店街は他とは少し違い、市民や商店主、大学生、商店街からなるNPO法人「くにたち富士見台人間環境キーステーション（略称KF）」が、フリーペーパー「やっほー」の発行や「やほレンジャー」の活動など、地域の活性化を行っているエリアです。「Cafeここたの」の他にも、地域野菜と地域物産の店「とれたの」、手づくり＆リサイクル雑貨の店「ゆーから」など、空き店舗を利用して誕生したオシャレなお店が立ち並んでいます。

カフェの内装には長野県朝日村のカラマツの木が使われており、団地の中にあるものの、お店の中に一歩足を踏み入れると、木のぬくもりに包まれた、まさに森の中に居るような心安らぐ気持ちになれます。また、カフェやランチ以外にも、世代を越えた交流を目指した「ここたのナイト」と言う、地域の人が誰でも楽しんで参加できるイベントなどが開かれています。

手作りのおいしさを、挽きたてのコーヒーと一緒に……

“ここたの”――可愛らしいイラストが添えられた看板と、緑に彩られた佇まいに誘われてドアを開けると、暖かみのある店内のたたずまいに、ほっと心が安らぎます。

注文を受けてから豆を挽いてサイフォンで淹れる、有機栽培ブレンドコーヒーは、手作りスイーツとの相性も抜群。学生・市民スタッフ考案の日替わりランチは、どの曜日の料理も趣向が凝らされ、野菜もたっぷり採れるぜいたくな一皿。常に季節感のあるメニューを出すため、2ヶ月ごとにランチやスイーツの内容が変わるのも見逃せません。

地域活性化の一環として、食材はすべて近くの商店街から仕入れているのもこだわりのひとつ。たとえば野菜は、新鮮で品ぞろえも豊富なフレッシュショップシマノを利用されるそうです（厨房の配達・回収で、しもじ歯科クリニックへ行く途中に前を通るお店です）。

■ここたの『メニュー』Q＆A

Q. 私たちはピアスで、朝１０時から、午後の３時または５時まで、就労トレーニングをしています。トレーニング帰り“ここたの”さんに立ち寄って、ひと休みしたいなというときに、おすすめのメニューがありましたら、ぜひ教えてください。

A. 疲れているときにおすすめなのは「ジンジャーティー」と「ジンジャーチャイ」です。お店で仕込んだジンジャーシロップを使用しています。

□あなたの『好き』が、誰かの『好き』につながるイベント『ここたのナイト』

みんなで好きな本を持ち寄って朗読し合う『朗読カフェ』が、「好きなものなら何でもいいのでは？」と変化し、生まれたのが『ここたのナイト』。

朗読・演奏・歌・手品などジャンルを問わず約5分間ステージに上がって自由に『好き』を表現し合う参加型イベント。観覧のみの方も大歓迎とのことで、10代の方から80代の方まで、様々な方がこのイベントに参加しているそうです。時には5歳の女の子がバイオリンを弾きに来たりしたことも！参加費は入場＋ドリンク＋ケーキで700円とかなりお手頃です。開催は、毎月第三土曜日の夜・19時～21時。

自分の「好き」を表現して、誰かの「好き」とつながっていく。感動から好き→好きから感動への循環が、地域交流の活性化につながる場として、『ここたのナイト』の可能性を感じました。

■『ここたのナイト』Q＆A

Q. 今までに印象に残ったステージや出演者のエピソードのことを教えてください。

A. 女性のお客さまで、腹話術をやられた方がいました。自作の手作りのぬいぐるみを操り人形にするという、二重の仕掛けもすごいなと思いました。

■学生インタビュー（一ツ橋大学2年生・『カフェここたの』代表：樋口さん）

・『ここたの』を通じて考えている地域交流・活性化についての難しさや課題を教えてください。

⇒『ここたの』自体、常連のお客さんがメインで、新規のお客さんがなかなか増え辛いという現状があります。僕自身も、接客業がはじめてで、お客さんに気軽に話しかけたりすることがあまり得意でないところからのスタートでしたし、イベント以外の営業時間、お茶に来ているお客さんなどに話し掛けるタイミングのつかみ辛い。あと、若い人が外出する街、したくなる街、ということが大切な気がしています。

・『ここたの』を通じ、学生のうちに実現したいことがあれば教えてください。

⇒趣味で囲碁をやっているので、いつか、年配の方も訪れるイベントにつなげられたら嬉しいです。

・将来の夢はありますか？

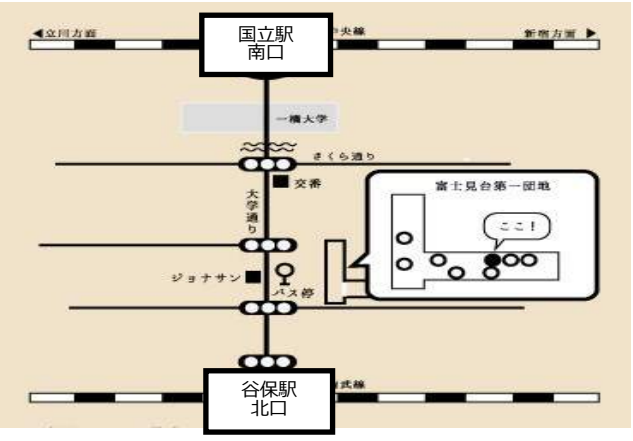
⇒いまは正直、ありません。でも、夢ができたときに、何にでもなれる準備をしています。

・↑また夢があるなら、それは『ここたの』の活動とどうリンクして来ますか？

⇒人とまず、触れ合うこと。普通のサークルでは、同年代だけの交流で終わってしまいますし。ここでは、子供から年配の方まで、色々な年代の方とのコミュニティがつくれるし、広がる。それらを夢につなげていきたいです。

谷保駅北口より徒歩5分
国立駅南口より徒歩20分
国立駅よりバス［第一団地］下車徒歩0分
中央自動車道［国立・府中IC］より甲州街道経由10分
有料駐車場あり

【営業時間】　OPEN 11:30 ～ CLOSE 18:00
【定休日】　水曜日
【電話番号】 042-573-9433
【住所】〒186-0003
東京都国立市富士見台1-7-1富士見台団地1号棟1階104
http://human-environment.com/104



お知らせ

就職した方へのフォローアップの取り組みの紹介　～土曜CES～

就職している方の一番の悩みも、そして企業が準備してきてほしい一番のトレーニングも「コミュニケーション」と言われています。基本的な挨拶から始まり、業務中の報連相、体調やSOSの発信など、一日はやり取りに始まりやり取りに終わるといっても過言ではありません。

ピアスでは、社会の中でのコミュニケーションスキルをつけるプログラムとして、平成２４年からCES（セス）を行っています。そして、それを経て就職した方のフォローアップとして、翌年から土曜日にも月１回プログラムを開催しています。

実際に就職すると、求められるコミュニケーションの質も少しずつ変わってくるので、ピアス利用中だけでなく就職後もCESに参加し続けることには大きな意味があると感じています。

土曜クラスは、多い時には5～６人の参加者が集まるので、コミュニケーション上の困っていることや今後の為に改善しておきたいことを出し合います。会社によって障害者雇用の状況も全く違うので、お互い興味深々の時もあれば、共通の悩みに共感しあうこともしばしば。出されたものの中から、今日取り組む場面を皆で選び、台本作りに取り組んで行きます。職場では、台本の相手は架空のA さんではなく実際の上司になるので、相手に言ってほしいセリフやそのための自分のセリフも臨場感があふれます。

働きながらの集まりなので、時にはお菓子を持ち寄ったりして、お茶を飲みながらの楽しいひと時も随所にあります。以前参加していたけれど間があいてしまったとか、ピアスの時はCESに参加していなかったけれど、会社でのコミュニケーションに悩んでいる方がいたら、相談お待ちしています。

高橋　しのぶ

編集後記

●最近人気だったメニューをお聞きしたところ、ハロウィン時期の2週間限定商品「かぼちゃのタルト」が毎年大人気で今年もたくさん出ていたとのこと。取材した日が11月だったため、惜しくも終わってしまっていました。来年こそは……！（N）

●誰かと出会い、つながることで、人の可能性は飛躍的に広がる。誰かが示し、気付かせてくれた意外性が、新しい扉を開くこともある。その扉が、地域や社会を元気にするきっかけをつくることもあるのでは？　と、今回の取材を通じ感じました。（U）

法人ウェブサイトでは

最新の情報をお届けしています。

⇒　**www.shuro.jp**

『棕櫚亭』で検索！

【編集】国立市富士見台1-17-4
社会福祉法人　多摩棕櫚亭協会
就労移行支援事業所ピアス内
はれのちくもり編集委員会
Tel 042-575-5911
【発行】特定非営利活動法人
障害者団体定期刊行物協会
〒157-0072 世田谷区祖師谷3-1-17-102
Tel 03-6277-9611
【定価】100円

手作りのおいしさを、挽きたてのコーヒーと一緒に……

“ここたの”――可愛らしいイラストが添えられた看板と、緑に彩られた佇まいに誘われてドアを開けると、暖かみのある店内のたたずまいに、ほっと心が安らぎます。

地元の皆さんに親しまれているのは、注文を受けてから豆を挽いてサイフォンで淹れる、本格的な有機栽培ブレンドコーヒー。手作りスイーツとの相性も抜群です。週替わりスイーツは、行ってみてのお楽しみ！

学生・市民スタッフ考案の日替わりランチは、どの曜日の料理も趣向が凝らされ、野菜もたっぷり採れるぜいたくな一皿。年配のお客さまも多いため、塩分や辛さは控えめとのこと。さらに、玄米よりも食べやすくて食物繊維も豊富な「七分付き米」のライスも、うれしい健康志向。常に季節感のあるメニューを出すため、２ヶ月ごとにランチやスイーツの内容が変わるのも見逃せません。ランチの他にも、焼きたてのトーストなどの軽食も楽しめます（もちろん、軽食＆コーヒーのセットも可能！）。

地域活性化の一環として、食材はすべて近くの商店街から仕入れているのもこだわりのひとつ。たとえば野菜は、新鮮で品ぞろえも豊富なフレッシュショップシマノを利用されるそうです（厨房の配達・回収で、しもじ歯科へ行く途中に前を通るお店です）。

■ここたの『メニュー』Ｑ＆Ａ

Ｑ１.
調理をしていて、苦労したことや、大変だったことはありますか？
Ａ１.
お菓子を作るのが初めてだったので、最初の頃は、料理よりもきっちり分量を量る必要があったり、
少しまぜすぎてもダメだったりなどで苦労しました。

Ｑ２.
私たちはピアスで、朝１０時から、午後の３時または５時まで、就労トレーニングをしています。
トレーニング帰り“ここたの”さんに立ち寄って、ひと休みしたいなというときに、
おすすめのメニューがありましたら、ぜひ教えてください。
Ａ２.
疲れているときにおすすめなのは「ジンジャーティー」と「ジンジャーチャイ」です。
お店で仕込んだジンジャーシロップを使用しています。